

海外安全対策情報 2023 年第 2 四半期（4～6 月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢および一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）社会情勢

ア 政治情勢

ソフィア市内では、ソ連軍記念碑の移設をめぐるデモや性的少数者支援を訴える「ソフィア・プライド 2023」等が実施された他、ウクライナのゼレンスキー大統領によるブルガリア訪問等がありましたが、大きな混乱はみられませんでした。

イ 災害発生状況

6 月中旬、ブルガリア中・西部を中心に豪雨が発生し、ソフィア市内でも河川の氾濫や道路の冠水が発生しました。

（2）治安情勢

ア 犯罪統計

ブルガリアでは近年、犯罪の減少傾向が続いていましたが、2022 年の犯罪認知件数は前年比約 1 割増となり、5 年ぶりに増加に転じました。人口 10 万人当たりの犯罪認知件数を日本と比較すると、ブルガリアは日本の約 2.8 倍で、罪名別にみると殺人は約 6 倍、強盗は約 15.2 倍と、凶悪犯罪について非常に高い水準にあります。

イ 不法移民統計

内務省の発表によると、2022 年中にブルガリア国内において身柄を拘束された不法移民は 18,729 人で、前年から約 52.5%増加しました。

ウ 交通事故統計

内務省の発表によると、2022 年のブルガリア国内の交通事故発生件数は 6,609 件（前年比+529 件）、死者数は 531 人（前年比-30 人）、負傷者数は 8,422 人（前年比+813 人）でした。

欧州委員会によると、2022 年のブルガリアの人口 100 万人当たりの交通事故死者数 78 人で、86 人のルーマニアに次いで、EU 内ワースト 2 位です。

（3）日本人被害犯罪の発生状況

6 月中旬、午前 8 時半頃に、日本人旅行者がアレクサンダル・ネフスキー大聖堂の入口にバックパックを置いたまま大聖堂内部を見学していたところ、出てきたときにはバックパックが盗まれていたという置引き被害を 1 件認知しています。

2 テロ・爆弾事件発生状況

この期間中、テロ・爆弾事件は発生していません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

日本人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

ブルガリア国内における対日感情は基本的には良好で、日本人に対する差別行為はこれまであまり見られません。新型コロナウイルスは中国から持ち込まれたという思い等により、中国人と日本人との混同も含め、アジア人全体に対する差別が顕在化するおそれもありますので、十分ご注意ください。